



2021 年度 第3回青年学習会

～若者の宗教観から解る仏教の未来～

Z世代の宗教観について

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 講師 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

武蔵野大学准教授
宗教学者

おおみ としひろ
碧海 寿広 氏

開催日時

2022 年 2 月 10 日 木

Zoom オープン 13:30 ~

日程 14:00 ~ 17:00

会場

オンライン会議システム「Zoom」

当日の会議 URL は、期日が近づきましたら、
メールにてお送りさせていただきます。

参加費

無料

対象

40 歳代まで教区内僧侶

持ち物

念珠・真宗聖典・筆記用具

申込

*裏面記載の申込欄をご確認のうえ、PC またはスマートフォンに
てお申込みください。 **締切** 2022 年 2 月 9 日 (水)

日程

14:00 開会

14:10 講義

(碧海 寿広氏)

15:20 休憩

15:30 座談

16:50 閉会

※日程は変更となる場合がございます。

講師プロフィール

お お み と し ひ ろ
碧海 寿広 氏

武蔵野大学文学部 准教授 / 宗教学者



慶應義塾大学経済学部卒業。慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士(社会学)。公益財団法人国際宗教研究所宗教情報リサーチセンター研究員、龍谷大学アジア仏教文化研究センター博士研究員を経て、2019年4月より現職。

今日宗門はながい間の仏教的因習によって、その形態を保っているにすぎない現状である。寺院には青年の参詣は少なく、従って青壮年との溝は日に日に深められてきているではないか。

『宗門白書』(1956年)より抜粋

上記の文章が出されてから、今年で65年。宗門がこの課題に対して何も取り組んでこなかったわけではないと考えていますが、時代状況が変わっても、課題の本質は変わっていないのではないのでしょうか。

青少幼年部門では、若者世代に向けて、教えをどう伝えていくのかということを考えてきましたが、振り返ってみると、「こちら側から伝える」ということばかりで、受け取る側のことを考えていなかった、知ろうとしていなかったのではないかと思います。

そのようなことを考えていたとき、このたびの講師である碧海寿広氏が「若者の宗教観から解る仏教の未来」と題して『月刊住職』に執筆された記事を目にしました。記事の中では、生まれたときからスマホやSNSが当たり前のZ世代(1996年以降に生まれた若者)にとって、仏教や寺院はどのような存在なのかを論じられていました。このことは、まさに私たちが直面している課題につながり、若者の宗教に対する本音や意識を知ることができるのではないかと考え、碧海氏をお招きし、学習会を開催することとなりました。

このたびの学習会では、現代を生きる若者が、宗教や仏教に、何を感じ、何を考えているのかを、ともに学び、「仏教や寺院のこれから」について語り合いたいと思います。

みなさまのご参加を、心よりお待ちしております。

2021年度「青年学習会③」参加申込について(締切:2022年2月9日(水))

本学習会の参加申込は全て「参加申込フォーム」にて受付いたします。

参加お申込は、パソコン又はスマートフォンにて、右記サイトへアクセスをいただき、必要事項をご入力ください。

青年学習会③参加申込フォーム



<https://bit.ly/3FXp820>

お問合せ:東京教務所 03-5393-0810 (担当:佐々木・白川)